

SAMPE通信 2007.3

先端材料技術協会 日本支部

Society for the Advancement of Material and Process Engineering Japan Chapter

1. 春の叙勲

東京大学名誉教授・SAMPE Japan 元会長 井形直弘先生が瑞宝中綬章を授賞されました。

2. SAMPE Journal 2007年5月・6月号をお届けします。

(1) 報文は次の4件です。

- ・ p.8~12 自動車用水素燃料 CFRP 圧力容器の FW 成型
- ・ p.19~25 石油・ガス掘削のための CF・GFRP 製 FW パイプ
- ・ p.34~42 熱可塑性樹脂マトリックスを用いた FRP 量産技術 Fiberforge 法の紹介
- ・ p.67~72 高負荷に耐える CFRP 部品 - 織物・トウブレースメント・RTM

(2) p.82 第10回 SAMPE 先端材料技術国際会議および展示会 JISSE - 10 の会告

(3) p.26 3名が SAMPE に入会されました。

3. 平成18年度第5回(通算120回)技術情報交換会のご案内 5月24日開催

日 時：平成19年5月24日(木) 13:00~19:00

会 場：湘南工科大学 東京キャンパス(糸山タワー7階会議室)

参加費：正会員・賛助会員：8,000円、学生会員：4,000円、非会員：11,000円

13:05~14:20

会員企業の製品・技術紹介

(株)エーシーエム：ACM 成形加工製品とその成形技術紹介 石川 源氏

(株)芦田製作所：最近の Autoclave 装置の紹介

(株)羽生田鉄工所：最近の Autoclave 装置の紹介

14:20~15:50

JEC/SAMPE Europe 材料分野別技術情報の紹介

最近の熱硬化性樹脂、Tool 材などの紹介 AXON

熱可塑性コンポジットから見た JEC 帝人化成 大野信博氏

16:00~16:30

JEC にみる航空機用複合材料構造部材の材料プロセス動向 KYC 山口 泰弘氏

16:30~17:20

JEC/SAMPE Europe 講演会・展示会をテーマにしたパネルディスカッション

17:30~19:00 懇親会

参加申込みは、お名前・所属・連絡先を記入して先端材料技術協会(Fax:0467-24-2735)まで
お願いします。

4. セミナー：複合材料入門『評価』開催のご案内 6月13日開催

昨今、大型旅客機をはじめ、先進複合材料の適用拡大が急ピッチで進められており、新たな複合材料基材や成形プロセスに対するニーズもこれまでに増して高まっています。その一方で、新しい材料や技術が実際に製品として採用されるまでの道のりは必ずしも楽なものではなく、サンプルを提供すれどもなかなか実用に至らないということをご経験されている会員の方も少なからずいらっしゃるものと思います。今回の複合材料入門セミナーでは、開発した材料に対する適切な評価の方法を習得するとともに、各製品分野において、実際に採用される条件、すなわちどのような評価をすれば採用してもらえるのかといった、「評価」のより実践的な側面にスポットをあてたセミナーを企画致しました。複合材料の開発、設計に携わっておられる方はもちろんのこと、企画や営業をご担当されている方がたにとっても、有用な情報をご提供できるものと確信しておりますので奮ってご参加下さいませようご案内いたします。

記

開催日時：2007年6月13日（水）

会場：湘南工科大学東京キャンパス（系山タワー7階大会議室 Tel:03-5441-8596）

募集人員：80名（先着順）

参加費：個人・賛助会員 20,000円、学生会員 10,000円、非会員 30,000円

お問い合わせは

SAMPE Japan ISO(Tel:0467-24-2721, Fax:0467-24-2735, E-mail:sampejp@fsinet.or.jp)まで

プログラム

開講挨拶 10:00? 10:10

企画委員長 三菱電機 尾崎毅志

1. 複合材構造材料評価 10:10? 11:40

(独)宇宙航空研究開発機構 複合材技術開発センター 杉本 直氏

複合材料の力学的特性評価方法、及び構造材料として評価方法について概説するとともに、複合材技術開発センターにおける、複合材料データベースとその活用方法について紹介する。また、航空機分野へ適用されるための評価について AGATE(The Advanced General Aviation Technology Experiments)の動向など紹介する。

2. 複合材料耐久性評価 12:40? 14:10

金沢工業大学 材料システム研究所 中田 政之氏

複合材料の耐久性評価として、時間-温度換算則を基盤とした加速試験法(Accelerated Testing Methodology:ATM)を紹介する。また、ひずみ不変量破損則(Strain Invariant Failure Theory:SHIFT)との組合せでの耐久性評価も紹介する。

3. 複合材料硬化モニタリング 14:10? 15:40

大阪市立大学大学院 工学系研究科 逢坂 勝彦 氏

熱硬化樹脂および複合材料の硬化過程をモニタリングする手法を紹介する。また、屈折率測定による硬化モニタリング、光ファイバーによる硬化・ひずみ同時モニタリング手法を紹介する。

4. 複合材料の製品化のための評価 15:50? 17:20

様々な製品分野において、製品化に至るための評価項目や固有の評価方法、採用されるために必要な条件や設計の考え方などについて実例を交えて紹介する。

自動車・輸送機分野	(株)ジーエイチクラフト	木村 學氏
建築分野	(株)大林組技術研究所	木村耕三氏
衛星・宇宙分野	三菱電機(株)先端技術総合研究所	尾崎毅志氏

17:20 ~ 17:30 閉講挨拶

企画委員長

17:30 ~ 19:00 懇親会(会費は参加費に含まれます)

SAMPE の活動はホームページをご覧ください。

SAMPE 本部 <http://www.sampe.org> SAMPE 日本 <http://www.sampejapan.gr.jp>

担当 松井

E mail: junichi-matsui@nifty.ne.jp